

37歳・巨人木村拓也コーチ

妻と3児を遺して急逝：



2日試合前倒れた木村さんはそのままとらぬ人に……

「去年の暮れ、彼の広島の実家を訪問しました。自宅には3人の息子と由美子夫人。10歳、8歳、3歳の子どもは元気盛りでしたよ。子ども好きなキムタクは、日本一のパパだったんじゃないかと思えます」

4月7日、くも膜下出血のため急逝した、巨人の木村拓也内野守備走塁コーチ（享年

37）。親交のあった野球解説者の宮本和知氏はこう振り返る。

「自宅前に空き地があった、子どもたちはそこで友人を集めて野球をしているんです。しかも自宅を目にかけてボールを打っている。『あんなことさせてたら、自宅がボコボコでしょ』と言うと、彼は『まあいいじゃないか。自分の子どもが自分の家の窓ガラス割ったって、知れたもんだよ』と笑っていました。若すぎる、それだけが残念です」

「一般的に血圧の高い人ができやすく、遺伝も大いに関係しているといわれています。ご両親がご親戚でくも膜下出血を患った方がいて、なおかつ高血圧の方は要注意といえます。喫煙や大量飲酒、塩分の取りすぎ、ストレスも高血圧の原因となりますから、くも膜下出血のリスクを高めることに繋がります」

「吐き気を伴う頭痛などは、くも膜下出血の最大の前兆として見逃せません。ふだん使っている頭痛薬でも効かないような頭痛が起き、なおかつ吐き気も伴う場合は、一刻を争う異変が起きていると考えなければなりません。また、動脈瘤は眼球の奥にある太い動脈にも非常にできやすいもの。その場合、『物が二重に見える』など、目に

宮本氏は本誌に無念の心境を



くも膜下出血・危険度チェックテスト・10

- くも膜下出血を患ったことのある身内がいる
- 高血圧である
- 喫煙している
- 大酒飲みだ
- 塩分の濃い料理が好き
- ストレスを強く感じている
- 吐き気を伴う頭痛がある
- 鎮痛剤を飲んでも治まらない頭痛が続いている
- 最近、物が二重に見えた
- ろれつが回らなくなった

*表は編集部で作成。該当する項目数が多いほど危険！不安に思ったら脳の専門医へ

頭痛&吐き気は要注意!!

くも膜下出血

危険度見分けるチェックテスト10

年間1万4千人以上が命を落とすとされるくも膜下出血。いったいどんな病気なのか「くも膜下出血」の工藤千秋院長に聞いた。

「原因の9割は脳の動脈に風船のような瘤ができ、それが破裂するケースです。30代から50代の方に圧倒的に起こりやすく、性別の割合はほとんど同じです」

働き盛りに多いようだ。ではなぜ、動脈瘤ができるのか。

「吐き気を伴う頭痛などは、くも膜下出血の最大の前兆として見逃せません。ふだん使っている頭痛薬でも効かないような頭痛が起き、なおかつ吐き気も伴う場合は、一刻を争う異変が起きていると考えなければなりません。また、動脈瘤は眼球の奥にある太い動脈にも非常にできやすいもの。その場合、『物が二重に見える』など、目に

「身内にくも膜下出血の方がいて、なおかつ血圧が高い方はお若くても早めに血圧を下げる薬を飲むことも考えたほうがいいでしょう。予防という意味では、早期発見がいちばん重要。だから、何も症状がなくても『脳ドック』を受けることをお勧めします。くも膜下出血のMRI検査であれば、約20分で1万数千〜2万円ほどで検査ができますよ」

危険を早めに察知するため、本誌は独自でチェックリストを作成した。あなたも一度試してみては？